

メジロ (*Zosterops japonicus*)

識別マニュアル

平成 25 年 10 月

環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室

目 次

はじめに	1
メジロ <i>Zosterops japonicus</i> の分布と亜種	2
羽色による日本産と外国産のメジロ <i>Zosterops japonicus</i> の識別	5
測定値による日本産と外国産のメジロ <i>Zosterops japonicus</i> の識別	7
参考文献	25

図表一覧

- 図1 メジロ *Zosterops japonicus* の各亜種の分布
- 図2 本州・九州産メジロとシマメジロの全頭長の比較
- 図3 本州・九州産メジロと韓国産メジロの露出峰長の比較
- 図4 シマメジロと韓国産メジロの全嘴峰長の比較
- 図5 ヒメメジロとリュウキュウメジロの附蹠長の比較
- 表1 日本産と外国産のメジロ *Zosterops japonicus* の測定値

写真

- 1 亜種メジロ *Zosterops japonicus japonicus* 鹿児島県出水市 2月
- 2 亜種メジロ *Zosterops japonicus japonicus* 長崎県壱岐市 9月
- 3 亜種メジロ *Zosterops japonicus japonicus* 長崎県対馬市 9月
- 4 亜種メジロ *Zosterops japonicus japonicus* 韓国济州島 3月, 7月
- 5 亜種シチトウメジロ *Zosterops japonicus stejnegeri* 東京都三宅島 7月, 8月
- 6 亜種イオウトウメジロ *Zosterops japonicus alani* 東京都小笠原村硫黄島 2月
- 7 オガサワラメジロ: 亜種イオウトウメジロ x 亜種シチトウメジロ小笠原村父島 5月
- 8 亜種シマメジロ *Zosterops japonicus insularis* 鹿児島県屋久島 5月, 6月
- 9 トカラ列島産メジロ *Zosterops japonicus insularis?* 鹿児島県十島村中之島 4月, 5月
- 10 亜種リュウキュウメジロ *Zosterops japonicus loochoensis* 沖縄県名護市, 国頭村与那 1月
- 11 亜種ダイトウメジロ *Zosterops japonicus daitoensis* 沖縄県南大東島 7月
- 12 亜種ヒメメジロ *Zosterops japonicus simplex* 台湾 9月, 香港 12月
- 13 亜種ハイナンメジロ *Zosterops japonicus hainanus* 中国海南島 11月

別種フィリピンメジロ *Zosterops meyeri*

- 14 亜種キクチフィリピンメジロ *Zosterops meyeri batanis* 台湾蘭嶼 9月

別種

- 15 チョウセンメジロ *Zosterops erythropleurus* 中国黒龍江省 8月

はじめに

我が国では、鳥獣保護法により野鳥は許可なく捕獲することも飼養することも法律で禁じられている。愛玩飼養目的の捕獲許可対象鳥類は、過去から順次減少し、近年では平成 11 年からメジロとホオジロの 2 種のみ一世帯 1 羽に限り、平成 19 年からはメジロ 1 種に限って一世帯 1 羽のみが認められていた。その後、平成 23 年 9 月に行った「鳥獣の保護を図るための事業を実施するための基本的な指針」の改正において、愛玩飼養のための捕獲については許可しないことと明記されたところである。

しかし、国内で違法に捕獲した鳥類を輸入した鳥類と偽って愛玩飼養しているケースは、今も後を絶たない。とくにメジロについては容姿が愛らしく鳴き声がよいため、多くの日本産の個体が国内で違法に捕獲され、輸入されたものとして飼養されており、近年輸入実績のない韓国産と称するメジロが日本国内で販売される事例が知られている。このような問題の解決には、輸入された外国産の鳥と国内産の鳥を識別することが不可欠であり、その識別方法を確立することが、違法捕獲や違法飼養を防止する有効な対策となる。

環境省自然環境局野生生物課では、平成 10 -13 年に「メジロ識別マニュアル(1998, 2001)」, 平成 12 年に「ウグイス識別マニュアル(2000)」, 平成 20 年には「オオタカ識別マニュアル(2008)」, 平成 21 年には「オオルリとキビタキの識別マニュアル(2009)」, 平成 23 年には「ホオジロ識別マニュアル(2011)」を発行した。これらの識別マニュアルによって外国産と国内産を識別できるようになり、各都道府県が違法飼養の取締りを実施する際に効果をあげているところである。

このメジロ識別マニュアルの改訂版は、平成 10 年に作成し、13 年に更新を行ったメジロ識別マニュアルについて、亜種メジロの地域的な変異の比較等の最新の知見等を補足して改訂を行ったものである。本書の活用により、メジロの各亜種の識別、および日本産と外国産のメジロの識別の方法について、現場での識別作業の向上が図られることが期待される。なお、今後も形態的変異に関する知見や分類学的な知見が追加される可能性もあるので、識別にあたっては、専門家と十分連携を図っていくことが望ましい。

メジロ *Zosterops japonicus* の分布と亜種

メジロ科 Zosteropidae には 13 属 98 種あり，そのうち，最も分布が広く，種数の多いメジロ属 *Zosterops* にはメジロ科の約 3/4 にあたる 75 種が認められている。メジロ属は大西洋のアフリカ西部沿岸の島嶼，アフリカ南部，インド，インド洋の島嶼からインドシナ，インドネシア，中国，日本，韓国，台湾，フィリピン，太平洋南西部の島嶼，オーストラリア，ニュージーランドに分布する。小さな島だけに分布する固有種や固有亜種が多い。

メジロ *Zosterops japonicus* は，伊豆諸島，小笠原諸島，南西諸島を含む日本，韓国南部沿岸，済州島，台湾，海南島を含む中国南部，インドシナ北東部にかけて分布し，繁殖する。また，サハリン南東部 (Nechaev 1991) と南千島の国後島 (ネチャエフ・藤巻 1994) から記録がある。

メジロは北方で繁殖する個体群が南方に渡り越冬することが知られており，北海道と本州北部では主に夏鳥である。また，日本本土の基亜種が伊豆諸島や南西諸島から記録され (日本鳥学会目録編集委員会 2012)，中国本土のメジロの亜種が冬期に海南島で記録されている (Chen 1987)。しかし，日本産のメジロが国外である中国本土や台湾，海南島から記録された例は知られていない。

メジロは日本の国内に 6 亜種，国外に 3 亜種の合計 9 亜種に分けられている。各亜種の分布は，以下の通りである (図1 メジロ *Zosterops japonicus* の各亜種の分布 参照)。

亜種メジロ *Zosterops japonicus japonicus*

北海道，サハリン南部，南千島，本州 (新潟県佐渡，粟島，島根県隠岐，山口県見島)，四国，九州 (長崎県対馬，壱岐，五島列島，男女群島)，および朝鮮半島南部と沿岸の黒山島，紅島，済州島，巨済島などに留鳥として分布する。冬鳥として屋久島，種子島，伊豆諸島，奄美諸島，沖縄諸島からも記録がある。自然分布でないが，1929 年以来，ハワイ諸島の数島に日本から移入され，西はカウアイ島までの主な島で野生化している (Mees 1957, Long 1981)。

北海道に分布するメジロは，Kuroda (1951) により亜種エゾメジロ *Zosterops japonicus yesoensis* として分けられたことがあり，亜種として認められることもある。また，対馬，壱岐，鬱陵島から朝鮮半島南部，済州島に分布するメジロは亜種イイジマメジロ *Zosterops japonicus ijimae* として分けられたことがある (Kuroda 1917)。韓国の鬱陵島のメジロは亜種ウツリヨウメジロ *Zosterops japonicus dageleticus* として分けられたことがある (靱山 1930)。

亜種シチトウメジロ *Zosterops japonicus stejnegeri*

伊豆大島から利島，新島，式根島，神津島，三宅島，御蔵島，八丈島，青ヶ島，鳥島までの伊豆諸島に留鳥として分布する。冬鳥として静岡県からも記録がある。

伊豆諸島の大島のメジロは亜種オオシマメジロ *Zosterops japonicus ohshimensis* として分け

られたことがある（靱山 1930）。小笠原郡島の個体群は移入されたもので、伊豆諸島産と硫黄島産の個体群が人為的に移入され交雑した個体群である（山階 1934）。この交雑個体群はオガサワラメジロ *Zosterops japonicus boninshimae* として別亜種に分けられたことがある（Momiyama 1927）。

亜種イオウトウメジロ *Zosterops japonicus alani*

小笠原諸島の硫黄列島に留鳥として分布する。南鳥島からも記録があり、人為的に移入された可能性がある。小笠原群島の父島・母島と周辺の島に分布するメジロは、亜種シチトウメジロと亜種イオウトウメジロとの交雑個体群である。

亜種シマメジロ *Zosterops japonicus insularis*

種子島，屋久島，甌島列島，および鹿児島県鹿児島郡三島村黒島に留鳥として分布する。トカラ列島のメジロは、亜種シマメジロとは一致していないので検討が必要である。迷鳥として久米島から 1922 年 2 月の標本の記録が 1 例ある（Kuroda 1925）。

亜種リュウキュウメジロ *Zosterops japonicus lochoensis*

奄美諸島（奄美大島から喜界島，徳之島，沖永良部島，与論島），琉球諸島（沖縄島，粟国島，屋我地島，伊平屋島，伊江島，伊是名島，慶良間島，久米島，宮古島，石垣島，西表島，与那国島，波照間島）に留鳥として分布する。

奄美大島のものは亜種アマミメジロ *Zosterops japonicus amami* として分けられたことがあり（靱山 1928），また，西表島と与那国島のメジロは，それぞれ亜種イリオモテメジロ *Zosterops japonicus iriomotensis* と亜種ヨナクニメジロ *Zosterops japonicus yonakuni* として分けられたことがある（Kuroda 1923）。しかし，現在は認められていない。

亜種ダイトウメジロ *Zosterops japonicus daitoensis*

大東諸島（北大東島，南大東島）に留鳥として分布する。

亜種ヒメメジロ *Zosterops japonicus simplex*

中国本土，ベトナム北部，タイ北部，台湾本土に留鳥として分布する。冬鳥として海南島からも稀な記録がある。迷鳥として韓国南西部の黒山島と紅島からも記録がある。台湾本土のメジロは亜種タイワンメジロ *Zosterops japonicus taiwaniana* として中国本土のメジロと分けられたことがある（靱山 1927）。

亜種ハイナンメジロ *Zosterops japonicus hainanus*

中国の海南島に留鳥として分布する。

別種フィリピンメジロ *Zosterops meyeri*

亜種キクチフィリピンメジロ *Zosterops meyeri batanis*

台湾南東沖の紅頭嶼（蘭嶼）と火烧島（緑島），およびフィリピンのバタン諸島に分布する。

以前はメジロの亜種として亜種キクチメジロ *Zosterops japonicus batanis* とされていたが，現在はメジロ *Zosterops japonicus* とは別種のフィリピンメジロ *Zosterops meyeri* の亜種として亜種キクチフィリピンメジロ *Zosterops meyeri batanis* として扱われ，フィリピンメジロに含まれる（Dickinson 2003）。

別種チョウセンメジロ *Zosterops erythropleurus*

メジロとは別種でメジロ科の中で最も北に分布する。ウスリーから中国北東部に分布し，中国南西部，韓国，日本，台湾，インドシナ，タイで越冬する。

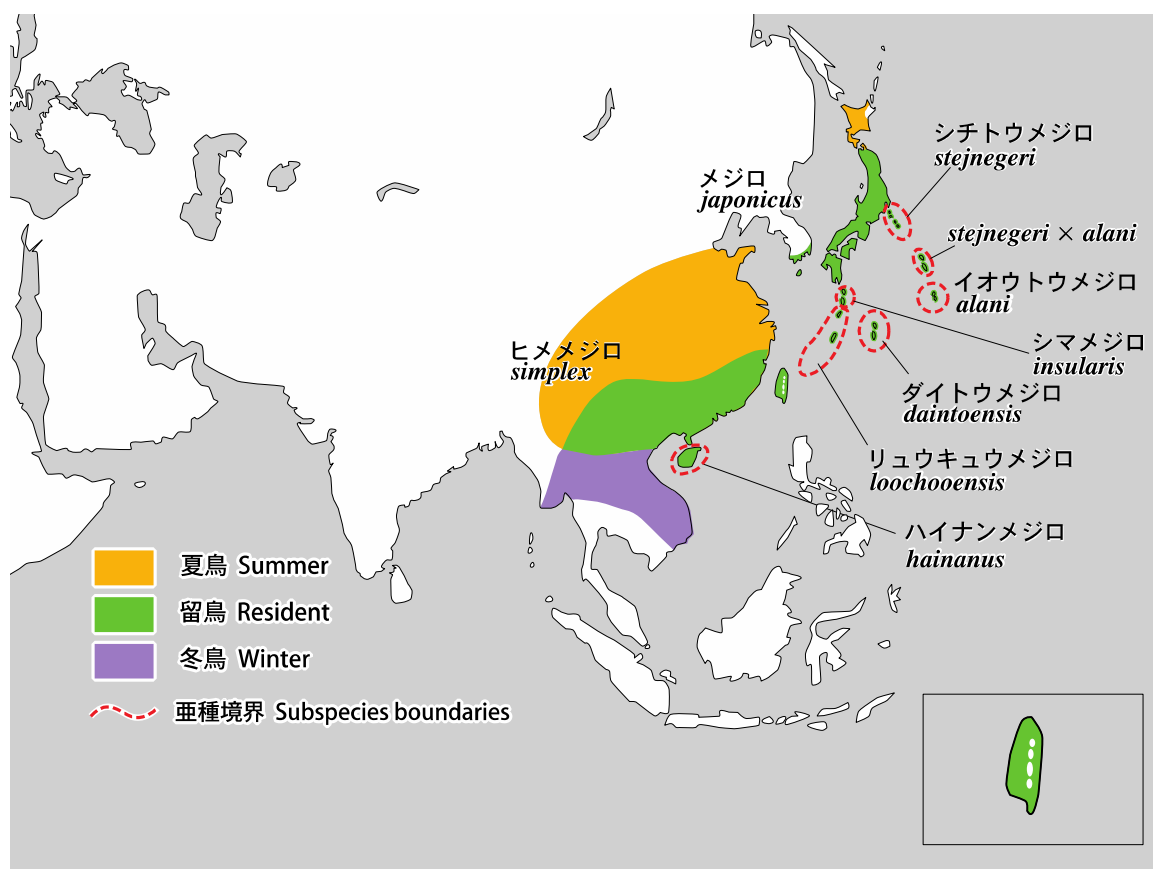


図1 メジロ *Zosterops japonicus* の各亜種の分布

羽色による日本産と外国産のメジロ *Zosterops japonicus* の識別

メジロの各亜種は、似ていて識別は難しい。各亜種は羽色および各部位のサイズとプロポーション、鳴き声が異なるが、羽色では、上面の緑色、胸、脇、腹の色、額と喉、下尾筒の黄色、および嘴と足の色、虹彩の色が異なる。亜種の識別には、これらの部位に注目することが必要である。メジロは、幼羽から第 1 回冬羽への換羽は翼と尾を含む完全換羽である。各亜種とも雌雄は、羽色とサイズが類似し、識別は難しい。鳴き声は、雄では雌より強く高い声で鳴き、囀るのは雄だけである。

メジロの各亜種および近縁種の特徴は以下の通りである。

亜種メジロ *Zosterops japonicus japonicus* 写真 1

額に黄色はほとんどなく、黒い眼先の上には黄色がある個体とない個体がある。下面は胸と脇が赤褐色で、個体により濃い。喉の黄色は眼の下の白い囲眼羽を縁取る黒線に達しない。成鳥の虹彩の色は、灰褐色の個体が多い。下嘴先端の黒色部は不明瞭である。吉岐、対馬と韓国産は嘴の基部が太い傾向がある（写真 2, 3）。韓国産のメジロは上面の緑色がやや暗色で胸と脇が淡く、喉と下尾筒の黄色が淡い個体が多い（写真 4）。

亜種シチトウメジロ *Zosterops japonicus stejnegeri* 写真 5

亜種メジロに類似するが、大きく、とくに嘴が長く太く、跗蹠が長い。喉の黄色は眼の下の白い囲眼羽を縁取る黒線に達しない。喉の黄色および胸と脇の赤褐色は亜種メジロより淡色である。下嘴先端の黒色部は亜種メジロより、わずかに明瞭である。成鳥の虹彩の色は、亜種メジロよりやや赤味がある。

亜種イオウトウメジロ *Zosterops japonicus alani* 写真 6

亜種シチトウメジロに似るが、喉の黄色はより淡色で、胸と脇の赤褐色は灰色味が強く、淡色である。喉の黄色は眼の下の白い囲眼羽を縁取る黒線に達しない。嘴は太いが、亜種シチトウメジロほど長くない。下嘴先端の黒色部は、亜種シチトウメジロに類似する。成鳥の虹彩の色は赤味が強い。亜種シチトウメジロと亜種イオウトウメジロとの交雑個体群である小笠原群島のメジロは、大きさは嘴が太いことを除き両亜種の間で、羽色は亜種イオウトウメジロに似る（写真 7）。

亜種シマメジロ *Zosterops japonicus insularis* 写真 8

羽色、大きさとも亜種メジロに類似するが、上面の緑色が濃い。胸と脇の赤褐色の部分が大

大きく、喉と腹中央の黄色は亜種メジロより濃く、明瞭である。嘴は基部が太くて長く、跗蹠および尾がやや長い。成鳥の虹彩は、灰褐色であるが、白味が強い個体がいる。トカラ列島産のメジロは、亜種シマメジロとされることがあるが、嘴がより長く太く、胸と脇はかなり淡色で、亜種シマメジロより亜種シチトウメジロに似る（写真9）。

亜種リュウキュウメジロ *Zosterops japonicus lochoensis* 写真 10

日本産のメジロの亜種の中で最も小さい。胸と脇が灰白色で赤褐色味がなく、亜種ヒメメジロに似るが、やや大きい。額は黄色をほとんど帯びない。上面の緑色には亜種ヒメメジロほど黄色味はない。腹中央が黄色を帯びる個体もある。下嘴先端の黒色部は不明瞭。成鳥の虹彩は灰褐色。

亜種ダイトウメジロ *Zosterops japonicus daitoensis* 写真 11

亜種リュウキュウメジロと、フィリピンメジロの 1 亜種の亜種キクチフィリピンメジロに類似する。亜種リュウキュウメジロより大きく、喉の黄色は眼の下の白い囲眼羽を縁取る黒線に達する。眼先の上の黄色の斑が大きく顕著で胸と脇、腹は灰白色である。上面の緑色は亜種キクチフィリピンメジロよりやや暗色で、下嘴先端の黒色部は不明瞭である。成鳥の虹彩は亜種リュウキュウメジロより、わずかに赤味がある。地鳴きは、日本産の他の亜種より細い声である。

亜種ヒメメジロ *Zosterops japonicus simplex* 写真 12

亜種リュウキュウメジロに似るが、小さく、嘴と跗蹠は短い。上面の緑色は黄色味が強く、額と眼先の上の黄色が顕著である。下嘴先端の黒色部は大きく明瞭で、虹彩の色は赤色味が強い。喉の黄色部は太く、白い囲眼羽を縁取る眼の下の黒線に達する。

亜種ハイナンメジロ *Zosterops japonicus hainanus* 写真 13

亜種ヒメメジロに類似するが、より小さい。上面はより黄色味が強く、額と喉の黄色もより明瞭で、喉の黄色部は白い囲眼羽を縁取る眼の下の黒線に達する。下嘴先端の黒色部は大きく明瞭で、虹彩の色は赤色味が強い。

別種フィリピンメジロ *Zosterops meyeri*

亜種キクチフィリピンメジロ *Zosterops meyeri batanis* 写真 14

亜種ハイナンメジロに似る。上面の緑色は亜種ヒメメジロより明るく、わずかに黄色味が強い。額と眼先の上の黄色の部分が亜種ヒメメジロと亜種ハイナンメジロよりやや大きく明瞭で、喉の黄色が亜種ヒメメジロより鮮やかである。腹中央は黄色を帯びる。下嘴先端の黒色部は大きく明瞭である。地鳴きは、亜種ダイトウメジロにやや似た細い声である。

別種チョウセンメジロ *Zosterops erythropleurus* 写真 15

上面の緑色は黄色味が強く，脇に明瞭な濃い赤褐色の斑があり，腹は白い。嘴は上嘴下嘴ともに基部が灰色がかかったピンク色を帯び，跗蹠の灰色もピンク色を帯びる。最外初列風切 P 9 がメジロ *Zosterops japonicus* より長く，P 8 よりわずかに短い。これらの特徴からメジロとの識別は，難しくはない（P 8 写真 1 参照）。本種もメジロと同様に幼羽から第 1 回冬羽への換羽は，完全換羽である。本種は雌雄異色で，第 1 回冬羽以後の雄は雌より脇の赤褐色斑が濃い。

IV 測定値による日本産と外国産メジロの識別

本州・九州産の亜種メジロ，韓国産の亜種メジロ，亜種シチトウメジロ，亜種イオウトウメジロ，亜種ダイトウメジロ，亜種シマメジロ，および亜種ヒメメジロについて，最大翼長，自然翼長，跗蹠長，露出嘴峰長，全嘴峰長，鼻孔嘴峰長，鼻孔前端嘴高，鼻孔前端嘴幅，全頭長，尾長の 10 部位の測定値（単位 mm），および体重（g）を表 1 に示す。すべて生体の測定値である。測定値は，羽色だけからの亜種の識別が難しいときの参考になるものである。

亜種シマメジロと亜種メジロの識別は，羽色だけからは難しい。しかし，Mann-Whitney の U 検定を行った結果，亜種メジロと亜種シマメジロの各部位の測定値には有意な差が認められた。全頭長は，亜種メジロが平均値 ± 標準偏差 30.4 ± 0.81 (n=140, 最小値 28.5 - 最大値 35.4, レンジ 6.90), 亜種シマメジロが平均値 ± 標準偏差 32.2 ± 0.69 (n=29, 最小値 30.4 - 最大値 33.1, レンジ 2.70) である (U=206.0, $p < 0.0001$, 図 2)。

韓国産のメジロは，現在，日本産と同じ亜種メジロに含まれている。しかし Mann-Whitney の U 検定を行った結果，本州・九州産のメジロにくらべ韓国産のメジロの嘴が太くて長い傾向がみられた。露出嘴峰長は，本州・九州産メジロが平均値 ± 標準偏差 11.8 ± 0.71 (n=140, 最小値 9.9 - 最大値 15.1, レンジ 5.20), 韓国産メジロが平均値 ± 標準偏差 13.0 ± 0.83 (n=90, 最小値 11.0 - 最大値 15.1, レンジ 4.10) である (U=179.0, $p < 0.0001$, 図 3)。

亜種シマメジロと韓国産亜種メジロの各部位について，Mann-Whitney の U 検定を行った結果，亜種シマメジロは，韓国産の亜種メジロより嘴が太くて長い傾向がみられた。全嘴峰長は，亜種シマメジロが平均値 ± 標準偏差 15.3 ± 0.53 (n=29, 最小値 13.7 - 最大値 16.1, レンジ 2.40), 韓国産亜種メジロが平均値 ± 標準偏差 14.8 ± 0.90 (n=90, 最小値 12.6 - 最大値 17.4, レンジ 4.80) である (U=757.5, $p = 0.001$, 図 4)。

日本産の亜種の中で最小の亜種リュウキュウメジロは，羽色もサイズも亜種ヒメメジロに類似するが，Mann-Whitney の U 検定を行った結果，各部位に有意な差が認められた。跗蹠長は，亜種リュウキュウメジロが平均値 ± 標準偏差 17.5 ± 0.57 (n=166, 最小値 16.0 - 最大値 20.6, レンジ 4.60), 亜種ヒメメジロが平均値 ± 標準偏差 16.1 ± 0.51 (n=33, 最小値 15.1 - 最大値 17.1, レンジ 2.00) である (U=153.0, $p < 0.0001$, 図 5)。表 1 の亜種ヒメメジロの測定値には，中国産，台湾産，およびベトナム産の個体が含まれている。

写真 1 亜種メジロ *Zosterops japonicus japonicus*



雄・成鳥 Male Adult

鹿児島県出水市 Izumi-shi, Kagoshima 2月 February

嘴は韓国産のメジロより短く，胸と脇にはより赤味があり，喉と下尾筒の黄色は，より濃い個体が多い。

写真 2 亜種メジロ *Zosterops japonicus japonicus*



雄・成鳥 Male Adult

長崎県壱岐市 Iki-shi, Iki Island, Nagasaki 9月 September

壱岐産のメジロは、韓国産のメジロに似るが、より嘴が太い。

写真 3 亜種メジロ *Zosterops japonicus japonicus*



雄・成鳥 Male Adult

長崎県対馬市 Tsushima-shi, Tsushima Island, Nagasaki 9月 September

対馬産のメジロは、韓国産のメジロに似るが、より嘴が太い。

写真 4 亜種メジロ *Zosterops japonicus japonicus*



雄・成鳥 Male Adult 韓国濟州島 Cheju Island, Korea 3月 March



雄・幼鳥 Male Juvenile 韓国濟州島 Cheju Island, Korea 7月 July
韓国産のメジロは、嘴が細長く、上面の緑色がやや暗色で胸と脇の赤味が薄い。喉と眼先、下尾筒の黄色は、日本産の亜種メジロより薄い個体が多い。

写真 5 亜種シチトウメジロ *Zosterops japonicus stejnegeri*



亜種シチトウメジロ *Zosterops japonicus stejnegeri*

雄・成鳥 Male Adult 東京都三宅島 Miyake Island, Tokyo 7月 July



雄・第1回夏羽 Male First Summer

東京都三宅島 Miyake Island, Tokyo 8月 August

亜種メジロより嘴が太く長く、跗蹠が長い。喉の黄色、胸と脇は淡い。

写真 6 亜種イオウトウメジロ *Zosterops japonicus alani*



雄・第1回冬羽 Male First Winter

東京都小笠原村硫黄島 Iwo Island, Ogasawara, Tokyo 2月 February

亜種シチトウメジロに似るが、亜種シチトウメジロより嘴の基部が太く、胸と脇は淡い。

写真 7 オガサワラメジロ： 亜種イオウトウメジロ x 亜種シチトウメジロ



雄・成鳥 Male Adult 東京都小笠原村父島

Chichijima, Ogasawara, Tokyo 5月 May

亜種イオウトウメジロに似るが、大きさはやや小さく亜種シチトウメジロとの中間である。

写真 8 亜種シマメジロ *Zosterops japonicus insularis*



雄・成鳥 Male Adult 鹿児島県屋久島 Yaku Island, Kagoshima
5月 May



雄・成鳥 Male Adult 鹿児島県屋久島 Yaku Island, Kagoshima
6月 June

亜種メジロに似るが、嘴が長く、胸と脇の赤褐色が濃い。喉の黄色は濃く腹中央は黄色。
成鳥の虹彩は灰褐色であるが、白味が強い個体がいる。

写真 9 トカラ列島産メジロ *Zosterops japonicus insularis?*



雄・成鳥 Male Adult 鹿児島県十島村中之島
Nakanoshima Island, Tokara Islands, Kagoshima 4月 April



雄・成鳥 Male Adult 鹿児島県十島村中之島
Nakanoshima Island, Tokara Islands, Kagoshima 5月 May
嘴が太く長く，胸と脇は淡色で赤味が少ない。亜種シマメジロより亜種シチトウメジロに似る。

写真 10 亜種リュウキュウメジロ *Zosterops japonicus lochooensis*



雄・成鳥 Male Adult

沖縄県名護市 Nago-shi, Okinawa, Okinawa Island 1月 January



雄・第1回冬羽 Male First Winter 沖縄県国頭村与那

Yona, Kunigamison, Okinawa, Okinawa Island 1月 January

日本産のメジロでは最も小さく，胸と脇，腹は灰白色で亜種ヒメメジロに似る。

写真 11 亜種ダイトウメジロ *Zosterops japonicus daitoensis*



雄・成鳥 Male Adult 沖縄県南大東島 Minami-Daitojima, Okinawa

7月 July

亜種リュウキュウメジロより大きく，喉の黄色が眼の下の白い囲眼羽を縁取る黒線に達する。眼先の上の黄色の斑が大きく丸みがあり，明瞭。成鳥の虹彩は亜種リュウキュウメジロよりわずかに赤味がある。下嘴先端の黒色部は不明瞭。地鳴きは，日本産の他の亜種より細い声である。

写真 12 亜種ヒメメジロ *Zosterops japonicus simplex*



雄・成鳥 Male Adult 台湾台中 Taichung, Taiwan 9月 September



雄・成鳥 Male Adult 香港カドリー Kadoorie, Hong Kong
12月 December

喉の黄色は囲眼羽を縁取る眼の下の黒線に達し、胸と脇は灰白色。下嘴の黒斑は明瞭である。

写真 13 亜種ハイナンメジロ *Zosterops japonicus hainanus*



雄・成鳥 Male Adult 中国海南島 Hainan Island, China

11月 November

亜種ヒメメジロに似るが、より小さく額と喉の黄色が濃い。虹彩は赤味が強い。

別種 フィリピンメジロ *Zosterops meyeri*

写真 14 亜種キクチフィリピンメジロ *Zosterops meyeri batanis*



雄・成鳥 Male Adult 台湾蘭嶼 Orchid Island, Taiwan

9月 September

メジロ *Zosterops japonicus* とは別種のフィリピンメジロ *Zosterops meyeri* の1亜種。
以前はメジロの亜種キクチメジロ *Zosterops japonicus batanis* とされていた。

別種

写真 15 チョウセンメジロ *Zosterops erythropleurus*



雄・成鳥 Male Adult 中国黒龍江省 Heilongjiang, China 8月 August



雄・成鳥 Male Adult 中国黒龍江省 Heilongjiang, China 8月 August

最外初列風切 P9 が長く，P8 よりわずかに短いだけなので，P9 が明らかに P8 より短いメジロ *Zosterops japonicus* との識別は難しくない。(P8 写真1 参照)

表1 日本産と外国産のメジロ *Zosterops japonicus* の測定値

		最大翼長	自然翼長	跗蹠長	露出 嘴峰長	全嘴峰長	鼻孔 嘴峰長	鼻孔前端 嘴高	鼻孔前端 嘴幅	全頭長	尾長	体重
本州・九州産メジロ	標本数	140	140	129	140	139	130	131	131	140	139	137
	平均	60.0	57.4	17.9	11.8	13.8	7.8	3.1	3.0	30.4	40.0	11.6
	最大値	62.5	60.6	19.9	15.1	17.8	10.1	3.6	3.5	35.4	49.8	15.1
	最小値	56.5	53.8	16.0	9.9	12.2	5.5	2.7	2.6	28.5	36.2	9.0
	レンジ	6.00	6.80	3.90	5.20	5.60	4.60	0.90	0.90	6.90	13.60	6.10
	分散	1.68	1.62	0.29	0.50	0.60	0.26	0.02	0.04	0.66	3.23	0.92
標準偏差	1.30	1.27	0.53	0.71	0.78	0.51	0.15	0.19	0.81	1.80	0.96	
亜種シチトウメジロ	標本数	37	38	38	38	38	38	38	38	38	38	35
	平均	60.1	57.6	18.1	12.3	14.4	8.1	3.0	3.0	31.3	40.2	11.3
	最大値	65.1	62.1	19.8	15.5	17.8	9.6	3.4	3.5	34.7	44.5	14.8
	最小値	57.1	54.1	17.2	10.5	12.3	7.2	2.7	2.5	29.5	36.0	8.9
	レンジ	8.00	8.00	2.60	5.00	5.50	2.40	0.70	1.00	5.20	8.50	5.90
	分散	4.71	3.55	0.47	1.50	1.91	0.41	0.04	0.07	2.42	3.79	3.34
標準偏差	2.17	1.88	0.68	1.22	1.38	0.64	0.19	0.26	1.56	1.95	1.83	
亜種イオウトウメジロ	標本数	47	47	46	47	47	47	47	47	47	47	46
	平均	63.1	60.6	20.4	12.8	14.5	8.7	3.4	3.5	31.9	44.0	11.3
	最大値	65.2	63.0	21.5	13.5	16.0	9.6	3.7	3.8	32.9	49.9	14.0
	最小値	60.5	57.5	19.4	11.7	13.2	6.7	3.2	3.0	29.9	40.7	10.4
	レンジ	4.70	5.50	2.10	1.80	2.80	2.90	0.50	0.80	3.00	9.20	3.60
	分散	1.10	1.23	0.19	0.16	0.32	0.22	0.02	0.03	0.25	3.12	0.41
標準偏差	1.05	1.11	0.44	0.40	0.57	0.47	0.13	0.17	0.50	1.77	0.64	
亜種タイトウメジロ	標本数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	平均	58.0	54.9	19.1	12.6	15.2	8.1	3.5	3.5	30.5	43.3	9.0
	最大値	60.0	56.6	19.8	13.0	15.7	8.4	3.6	3.8	31.3	45.0	9.3
	最小値	55.7	53.3	18.3	11.7	14.4	7.9	3.4	3.3	28.8	41.0	8.6
	レンジ	4.30	3.30	1.50	1.30	1.30	0.50	0.20	0.50	2.50	4.00	0.70
	分散	1.70	1.97	0.24	0.17	0.18	0.03	0.00	0.02	0.57	1.66	0.04
標準偏差	1.30	1.40	0.49	0.41	0.43	0.18	0.06	0.16	0.76	1.29	0.21	
亜種シマメジロ	標本数	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
	平均	61.3	58.7	18.5	13.1	15.3	8.6	3.2	3.2	32.2	41.5	11.3
	最大値	64.0	61.1	19.8	14.2	16.1	9.1	3.6	3.5	33.1	44.4	12.5
	最小値	58.0	56.1	17.5	12.0	13.7	7.6	3.0	3.0	30.4	38.5	10.2
	レンジ	6.00	5.00	2.30	2.20	2.40	1.50	0.60	0.50	2.70	5.90	2.30
	分散	1.99	1.38	0.28	0.34	0.29	0.10	0.02	0.02	0.48	1.57	0.28
標準偏差	1.41	1.17	0.53	0.58	0.53	0.32	0.15	0.13	0.69	1.25	0.53	
亜種リュウキュウメジロ	標本数	168	159	166	166	162	152	153	153	162	167	165
	平均	57.0	54.5	17.5	11.6	13.7	7.9	3.0	3.0	29.5	38.4	9.7
	最大値	59.5	57.6	20.6	13.6	17.3	17.6	3.5	3.6	32.6	47.0	12.8
	最小値	52.5	51.4	16.0	10.2	12.1	6.3	2.4	2.5	23.6	28.5	7.9
	レンジ	7.00	6.20	4.60	3.40	5.20	11.30	1.10	1.10	9.00	18.50	4.90
	分散	1.46	1.45	0.33	0.35	0.54	0.85	0.03	0.03	0.86	4.12	0.57
標準偏差	1.21	1.20	0.57	0.59	0.73	0.92	0.16	0.18	0.93	2.03	0.75	
韓国産メジロ	標本数	91	38	91	90	90	90	90	90	89	91	38
	平均	61.0	59.3	18.1	13.0	14.8	8.9	3.2	3.1	31.4	40.4	12.0
	最大値	64.5	61.8	19.8	15.1	17.4	39.6	3.8	3.7	33.7	48.0	13.5
	最小値	56.5	55.5	15.8	11.0	12.6	7.1	2.8	2.4	28.9	35.5	10.8
	レンジ	8.00	6.30	4.00	4.10	4.80	32.50	1.00	1.30	4.80	12.50	2.70
	分散	2.53	1.90	0.47	0.70	0.81	10.96	0.03	0.05	1.47	2.99	0.47
標準偏差	1.59	1.38	0.68	0.83	0.90	3.31	0.17	0.22	1.21	1.73	0.69	
亜種ヒメメジロ	標本数	31	31	33	33	32	33	33	33	32	33	30
	平均	55.0	52.6	16.1	10.9	12.7	7.3	2.8	2.8	28.2	36.8	8.9
	最大値	58.0	56.8	17.1	12.0	13.8	7.8	2.9	3.1	29.5	39.4	9.8
	最小値	51.6	49.8	15.1	9.7	11.8	6.9	2.6	2.5	26.8	35.0	7.8
	レンジ	6.40	7.00	2.00	2.30	2.00	0.90	0.30	0.60	2.70	4.40	2.00
	分散	1.64	2.01	0.26	0.23	0.25	0.05	0.01	0.01	0.40	1.07	0.26
標準偏差	1.28	1.42	0.51	0.48	0.50	0.23	0.09	0.12	0.63	1.03	0.51	

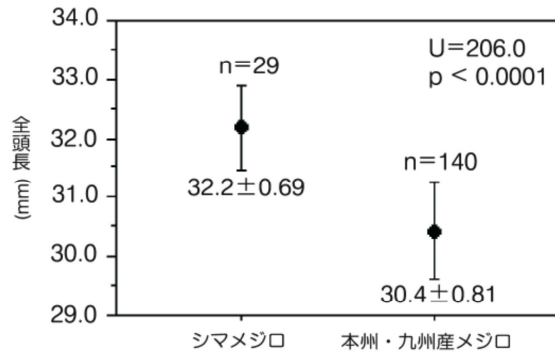


図2 本州・九州産メジロとシマメジロの全頭長の比較

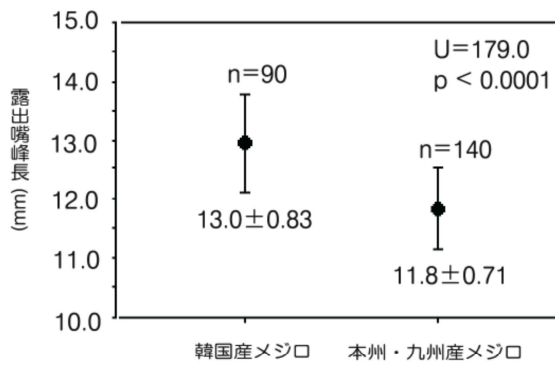


図3 本州・九州産メジロと韓国産メジロの露出峰長の比較

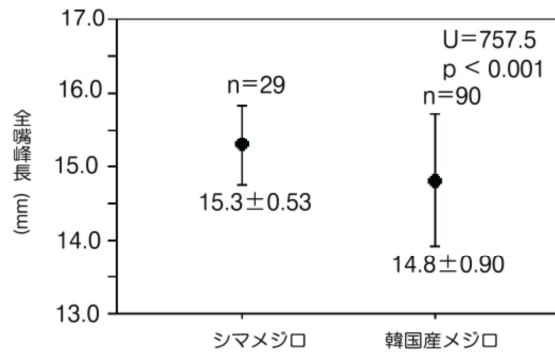


図4 シマメジロと韓国産メジロの全峰長の比較

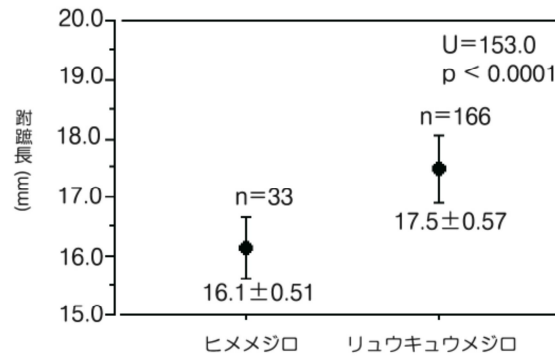


図5 ヒメメジロとリュウキュウメジロの附蹠長の比較

V 参考文献

- Chen, T.-h. 1987. A Synopsis of the Avifauna of China. Science Press, Beijing.
- del Hoyo, J., Elliott, A. and Christie, D.A. (Eds.) 2008. Handbook of the Birds of the World. Vol.13. Lynx Edicions, Barcelona.
- Dickinson, E.C. (Editor) 2003. The Howard and Moore Complete Checklist of the World. 3rd Edition. Christopher Helm, London.
- Kuroda, Nagahisa 1951. A new race of White-eye from southern Hokkaido. Bull. Biogeogr. Soc. Japan 15(2): 5-6.
- Kuroda, Nagamichi 1917. On one new genus and three new species of birds from Corea and Tsushima. Tori 1(5): 1-6.
- Kuroda, Nagamichi 1923. Descriptions of new subspecies from Japan. Bull. Brit. Orn.Club 43(316): 86-91.
- Kuroda, Nagamichi 1925. A Contribution to the Knowledge of the Avifauna of the Riu Kiu Islands and the Vicinity. Published by the Author, Tokyo.
- Mees, G.F. 1957 - 1969. A systematic review of the Indo-Australian Zosteropidae (Pt. I). (Pt. III). Zool. Verh. Rijksmus. Nat. Hist. 35: 1 - 204. 102: 1-390.
- 籾山徳太郎 1927. 日本産繡眼児科. 台湾博物學會會報 17 (92): 299-307.
- Momiyama, Tokutaro 1927. Descriptions of two new birds from Bonin Islands and Volcano Islands, Japan. Bull. Brit. Orn.Club 47 (316): 145-146.
- 籾山徳太郎 1928. 日本産繡眼児科(2). 台湾博物學會會報 18(94): 1-11.
- 籾山徳太郎 1930. 小笠原諸島並に硫黄列島産の鳥類に就て. 日本生物地理學會會報 1(3): 89-186.
- 村田懋麿(編) 1936. 鮮満動物通鑑. 日白書院, 東京.
- Nechaev 1991. Birds of Sakhalin Island. USSR Academy of Science, Far Eastern Branch Institute. Vladivostok.
- 日本鳥学会 2012. 日本鳥類目録 改訂第7版. 日本鳥学会, 三田.
- 茂田良光 1999. 形態と識別 41, 42, 43. メジロ (1), (2), (3). Birder 13(2): 72-79, 13(3): 46-53, 13(5): 46-53.
- 茂田良光 2008. 世界のメジロ図譜 改訂版. 全国野鳥密猟対策連絡会, 京都.
- Vaurie, C. 1959. The Birds of the Palearctic Fauna, Passeriformes. H.F. & G. Witherby Ltd., London.
- 山階鳥類研究所 1997. 渡り鳥アトラス, 鳥類回収記録解析報告書 (スズメ目編 1961年 - 1995年). 山階鳥類研究所, 我孫子.
- 山階芳麿 1934. 日本の鳥類と其生態, 第1巻. 梓書房, 東京.

メジロ *Zosterops japonicus* 識別マニュアル

平成25年10月

発行者：環境省 自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室

業務請負者：公益財団法人 山階鳥類研究所

※平成24年度鳥類識別（メジロ）マニュアル更新版作成業務報告資料（平成25年3月）をもとに作成